

年末の交通事故防止県民運動【12月1日(月)～31日(水)】

スローガン ～ 反射材 あなたの未来を 照らしてる ～

年末は、交通混雑や飲酒の機会の増加による交通事故及び日没時間の早まりに伴い、夕暮れ時から夜間にかけての交通事故が多発する時期です。一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールを守り交通マナーの向上に取り組むことにより、交通事故を防止しましょう。

運動の重点 (1)子どもと高齢者の交通事故防止 (2)夕暮れ時と夜間の交通事故防止
(3)飲酒運転の根絶

夕暮れ時の運転は要注意！

例年この時期は、16時から19時にかけて死亡者数が急増する傾向にあります。車を運転する場合には、上向きのライトを積極的に使用して歩行者等の早期発見に努め、事故を未然に防ぎましょう。



問合せ 町民課 ☎029-288-3111 (内線116)

俳句

引く蔓の上下わからず烏瓜

飯田 勇一

芋茎剥く遠い記憶の母の声

綿引 英子

田の神を送る賑はひ冬紅葉

一杉 常子

鱒雲オリーブの実のまだ青し

森 静江

海鳴りを遠くに聞いて枯真菰

鯉淵 寿美恵

山紅葉タムの水色空の色

飯村 昭子

稲架棒を納屋に片付けちろ虫

仲田 まちゑ

切手貼る厚みのありて夕紅葉

竹内 幸子

千曲川日本海まで秋の旅

今瀬 多代美

百匁柿待つ人よりも烏の目

袴塚 よし子

紅葉且つ散るすきとほるダムの水

瀬谷 博子

ポーランドへ旅立つ握手冬帽子

寺門 孝子

皆既食月面漏れなくコキア色

岩下 金司

筑波嶺小春の空の孤雲かな

田口 勝元

川柳

円安で酒もがまん週三日

富田 多蔵

唇は真赤で服はしわだらけ

青木 新三郎

雑草を育てるのがうまい人?

飯村 孝一



文芸しるさと

短歌

初一俵安値となりておどろきぬ
農民泣かせて荒野とならむ

山形 式妙

救急の外來を訪ふ夫伴われて真
夜の往路に黙して二人

大森 久子

秋の日は暮れ早き夕むくげ咲く
うす紅色の花のやさしさ

青柳 京子

車庫の辺に藁葉残して燕一家遠
く発ちゆく恙無くあれ

所 美恵子

エスカレーター一歩踏み出すタイ
ミング逃せば怖し手すりを頼る

杉山 みちこ

一升餅背負ふ一歳となる習ひ歩
めずも小さな儀式終へたり

渡辺 千紗子

庭先の紫ゆかし菊の花甘酢味付
け食膳楽しむ

鶴田 すが

病院の窓から眺むドクターヘリ
今日は何処へ迎え往くらん

菌部 光子

仰向けに伸びきったまま手足曲
げ日向のいすに眠り込む猫

富田 欽子

紅葉に心みたせる湯の宿に友
と語らうひと夜みじかし

枝 不美

ちろる鳴く晩秋の夜は更けゆきて
離れ住む息子等に思いを馳せぬ

島 愛子

移り住み近くなりし娘ら夫婦
週に一度は訪ねてくれし

坪井 きよ子

秋晴れの明治神宮待ちいたりし
姪の婚儀の列に就きゆく

萩谷 登喜子

秋の陽に冴えて茜色のもみじ寺
人ら賑わう霜月十日

富田 佐智子

